

# Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。  
 総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110



◀ 将来の夢を発表して、古賀校長から卒業証書を受け取る卒業生



▶ 学び舎での日々を思い出しながら校歌を斉唱する卒業生

自分の道を切り開いてください

東部校小学部卒業証書授与式

4月で開校して1年を迎える小中一貫校の小学部卒業証書授与式が、3月20日に各学校で行われ、小学部6年生188人に卒業証書が授与されました。東部校では、42人が卒業を迎え、古賀一哉校長から卒業証書を受け取りました。

古賀校長は「目標に向かって挑戦し、自分の道を切り開いてください」と言葉を送りました。

また、卒業生保護者代表のあいさつでは、田中渉さんが「6年間での学校行事をはじめ、先生方のご指導のもと、子どもたちは大きく成長しました。我々親子ともに小学部での経験を活かしていきます」と6年間の感謝と中学部への決意を述べました。

式典後、各教室で最後のクラスルームが行われ、1組の山口幸志先生のクラスでは郷土の偉人のスライド上映が、2組では担任の下田仁子先生から一人ひとりに『名言集』と題したエールの言葉を書いた色紙が渡され、決意を新たに旅立ちの日を迎えました。

ともに励まし合った仲間が素晴らしい宝物です

西溪校中学部卒業証書授与式

3月14日、各小中一貫校中学部で卒業証書授与式が行われ、中学部9年生221人に卒業証書が授与されました。西溪校では、42人が卒業を迎え、保護者や先生方、来賓が見守るなか、今泉弘校長から卒業証書を受け取りました。

今泉校長は「常に自分を磨く努力を忘れず、他人から信頼される人間になるよう頑張ってください」と言葉を贈りました。

式典後、生徒会主催で『卒業生を祝う会』が開催され、在校生代表の生徒会長西村脩吏さんが「先輩と後輩の仲は永遠に続きます。これから先輩の頑張りに恥じないよう努力していきます」と送辞を述べました。また、卒業生を代表して陣内菜奈子さんが「私たち42人は、自らの手で夢を掴むため卒業します。ともに励まし合った仲間は素晴らしい宝物です。一人ひとり責任をもって歩んでいきます」と力強く答辞を述べました。



◀ 今泉校長から励ましの言葉とともに卒業証書を受け取る卒業生



▶ 3年間の思い出を写真で振り返るスライドの上映の様子

## 地域に恩返し！西溪校6年生が地域のトイレを清掃

3/12

西溪校6年生が卒業を前に、「地域に恩返しを！」との思いで、多久聖廟観光案内所横、東原産舎、ユア新鮮館、多久公民館の学校周辺4つの施設のトイレを清掃しました。



この取り組みは、一貫校になる前の中部小学校時代から続いているもので、参加した児童は40人。「トイレ掃除で心を磨く」を目標に3年生の時から学校のトイレを素手で磨いており、地域のトイレも学校同様に素手で清掃しました。

担任の浦川雅雄先生は「卒業する6年生として、この取り組みで地域への感謝の気持ちを育てたい」と話しました。

## 中央校5年生・7年生合同『いのちの授業』

3/3

限りある命や生きていることの素晴らしさについて考える『いのちの授業』を中央校で行いました。

ホスピスを進める会の平川義雄さんを講師に、5年生・7年生210人と佐賀市医師会立看護専門学校の2年生47人が参加。1グループ10～11人の23グループに分かれてのグループワークや右大腿骨骨肉腫を患い13歳で死去した猿渡瞳さんを題材にした『瞳スーパーデラックス』のビデオを視聴し、自分が同じ立場ならどう受け止めるかなど議論しました。



参加した7年生の小柳美帆さんは「改めて家族や友人と過ごす一日一日を大切にしたい」と振り返りました。